

 取組概要

- 県内全市町の担当職員を対象に、内閣府のガイドラインと実践的学習プログラムを活用した研修を実施
- 男女共同参画担当・防災担当・福祉保健担当の連名で、各市町に通知

## 取組のきっかけ 『県内の全ての市町が自ら取り組めるようにしたい！』

これまでに行った研修から、男女共同参画に防災の視点を掛け合わせることで参加者に伝わりやすく、男女共同参画をより理解しやすくなることを感じていた。

防災×男女共同参画

内閣府男女共同参画局のガイドラインが公表され、男女共同参画の視点からの防災が重要な取組であると再認識。



既存の研修のテーマを「男女共同参画の視点からの防災」にし、全ての市町の男女共同参画担当・防災担当・福祉保健担当を対象に研修を実施。

県内の全ての市町が、自ら取り組り組むためのきっかけづくりを目指そう！



# 1 研修の通知と実施方法を工夫し、全ての市町の研修参加を実現！

## 研修の案内の通知

- 市町に研修の案内を出す際は、**県からの「通知」として**
  - 関連課室の連名**とし、男女共同参画担当と防災担当、福祉保健担当から、市町のそれぞれの関係部署へ発出した

こんな  
いいことが  
あった！



- 研修日程は、市町の職員が参加しやすいよう、同じ内容の研修を**3日間設定し、早めに通知した**

こんな  
いいことが  
あった！



## 研修実施の工夫

- オンラインで実施し、全ての市町にサテライト会場を設定した**

さらに  
いいこと！



- ガイドラインや資料集の配布や、DV防止啓発ポスター等の見本として各1セット配布**
  - 翌年からはそれぞれの**市町での対応を呼びかけた**

これが  
コツ！



市町の担当課が研修の重要性を認識し、**全ての市町の防災担当と男女共同参画担当が研修に参加できた！**

全ての市町の  
担当課が研修に  
参加！



**受講できる日程の選択肢が増え、ゆとりをもって日程の連絡をすることで、参加しやすくなった！**

県民も参加できるようになった！



自宅などでも受講でき、研修に**参加しやすくなった！**

**見本を提供することで、行動に移せるようにした！**

**市町から活用方法を報告してもらいフォローアップを行った！**



## 2 市町、県それぞれの男女共同参画担当と防災担当の連携を促進！

### 市町内連携のきっかけづくり

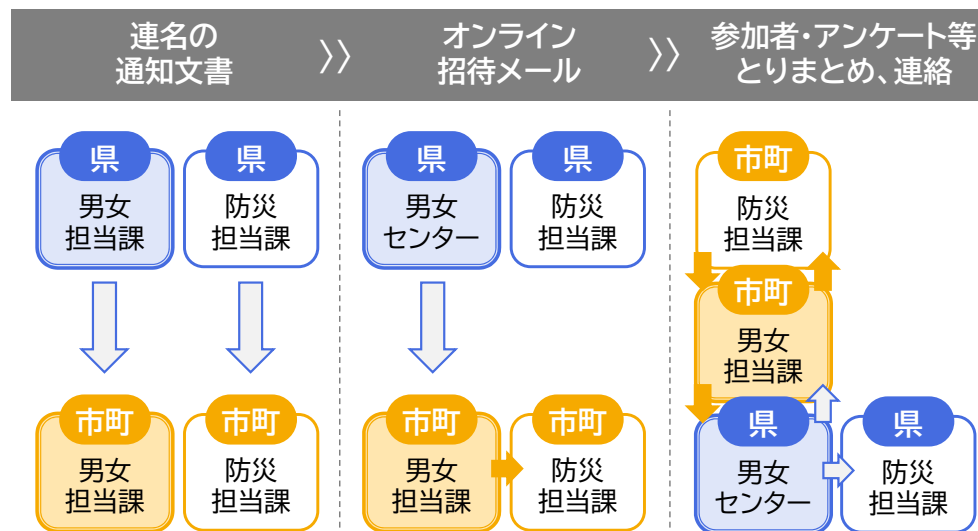
1. 研修の通知は各課へ、招待メールは男女共同参画担当へ送信している

- 1) 通知文書は3課室連名とし、  
県各課室⇒市町各課に通知
- 2) 招待メールは、県の男女共同参画担当  
⇒市町の男女共同参画担当を通して、  
各防災担当・福祉保健担当へ
- 3) 市町の男女共同参画担当に  
参加者やアンケートのとりまとめ、  
連絡をもらう

こんな  
いいことが  
あった！



男女共同参画担当に参加やフィードバックのとりまとめを  
してもらうことで、市町内の男女共同参画担当と  
防災担当の連携のきっかけに！



### 県庁内での部局間連携

2. 研修では、防災担当、福祉保健担当、男女共同参画担当のそれぞれから、男女共同参画の視点からの防災について説明した

- 1) 防災担当から、県内の過去の災害状況に関する説明(令和2年度)
- 2) 福祉保健担当から、災害時の物資備蓄に関する説明(令和3年度)
- 3) 男女共同参画担当から、内閣府男女共同参画局の実践的学習プログラムを実施(令和3年度)

こんな  
いいことが  
あった！



研修に参加した市町の防災担当や福祉保健担当から、男女共同参画担当との連携の重要性に気づいたとの意見があった！

県内部でも連携の重要性を認識！

